サポートやお
ボランティアだより

第 71 号
2016 年 12 月 20 日
（年 4 回発行）

★発行　社会福祉法人　八尾市社会福祉協議会、八尾市ボランティア連絡会
★住所　〒581-0018　　八尾市青山町 4－4－18　在宅福祉サービスネットワークセンター内

ボランティア全国フォーラム２０１６に参加して

“ 親と子のいんた～ねっとYAO ”

１１月５日・６日、東京国立オリンピック記念青少年センターで開催され、八尾市ボランティア連絡会からは“親と子のいんた～ねっとYAO”の2名が参加しました。

過去２４年間にわたり開催されてきた「全国ボランティアフェスティバル」が今年から名称変更され、『研究協議』の要素に重点をおいたフォーラムになりました。

分科会で発表しました

１日目、「広がれボランティアの輪」連絡会議・前会長阿部志郎氏の記念講演「社会の変革とボランティア・市民活動の変遷」が始まりました。阿部氏の『「ボランティアをしないと恥ずかしい」と言われる社会をどうしたら作れるか』という言葉と、『速く行きたければ、１人で行け。遠くまで行きたければ、皆で行け』という言葉が心に残りました。後者はアフリカのことわざだそうです。

次に、トークセッション①「ボランティア・市民活動はどこへ歩むのか～これまでの歩みと次への一歩～」、トークセッション②「明日への学び～２日目の分科会へのバトン～」と続きました。

夕方の交流会では、全国各地から約２５０名が参加され、様々な活動をされている方々と知り合いました。その中で印象に残ったのが、大学院在学中に学習支援ボランティアをしていたが、それだけではいけないと思い今は NPO に入って子ども食堂を立ち上げたと話してくださった方でした。

２日目の分科会は5つに分かれており、

1. まちの元気はみんなでつくる～多様な協働が生み出す地域力～
2. ボランティアへのやる気を起こす“スイッチ”を探そう～福祉教育・市民学習の視点から考える～
3. 非営利組織を育てる財源について考えよう～出し手と受け手の“思い”をひとつに～
4. グローバル社会におけるボランティア活動～日本から世界、そして日本へ～
5. ユース　エンパワメント～ユースのパワーを社会に～

でした。

私たちは第5分科会に参加しました。

コーディネーターは、ユースビジョン代表・大谷大学准教授の赤澤清孝氏で、東京の学生たちが、『障がい者（児）ボランティア』『熊本ボランティア』活動を通して、「社会を変えた」「自分が変わった」体験の報告をされ、最後にグループで話し会い、発表しました。

交流会の様子

このフォーラムに参加した事で、自助・共助・公助の内、ボランティア活動(共助)の重要性を改めて感じました。

※来年は11/18～19に広島県で開催予定です。

ボランティアお試し講座 （1）　　手話サークル “どんぐり”

１ 日 手 話 講 座

I LOVE YOU

９月３０日(金)雨模様の夕暮れ、集まったのは老若男女２１人。サークルの皆さんがマンツーマンで【指文字】の解説。手をグーやチョキなど色々な形にし、左右にひねったり縦にしたり横にしたり、アイウエオ50音を学習。「自分の名前だけでも覚えて、自己紹介できるように…」眉間にしわを寄せて真剣な表情の参加者。次に【こんにちは、ありがとう、ごめんなさい…】挨拶の手話。

後半は特別ゲストの登場。ろう者の八尾市身体障害者福祉会　聴聞部の小倉一郎さんの楽しいお話。

みんなでいっしょに手話

ろう学校のこと、聞こえない人と会った経験は？　手話の大切なポイント等・・・。「ありがとうはうれしい表情、ごめんなさいの時は申し訳ない表情をしないと伝わりません。」と実践や物まねを交え、笑い一杯。

会場の空気がなごみました。

―感想をお聞きしました。 ―

「楽しかった！　思ったよりも難しいのですね。」

「小倉さんの表情がとても豊かで顔の筋肉が、鍛えられ発達していると感心しました。」

と満足そうに家路につかれました。

※手話サークルどんぐりは、毎週金曜日、午後 6 時 30 分～、八尾市立社会福祉会館で活動しています。

「またのお越しをお待ちしています。」

byどんぐりサークル一同(^^)/

ボランティアお試し講座 （2）

車いす介助の正しい知識教えます

“ひまわりの会”

今回の講師は、「ひまわりの会」の方々です。最初に、「車いす利用にあたっては、安全に移動すること、乗っている人が安心して乗っていられるように、次の動作に移る時、方向を変える時は声かけしてから進む」等、心くばりの大切さをお聞きしました。その後、車いすの開閉の仕方を学び、二人一組で体験が始まりました。

練習用に作られた木製の道路で、方向転換、坂道での上り下り、段差越え、降り方等、利用者、介助者になっての体験です。要所要所で講師の方から助言をいただきながら、体験によって、利用者の気持ち、介助者の気くばり等、日常気づかずに過ごしていたことに、あらためて気づかされた有意義な講座でした。

当日配布されたわかりやすい説明資料

車いす操作きほんの“き” から　　一部　抜粋

〈 ワンポイントアドバイス 〉

・車いすを押す時は両手を使う。

・利用者の好む速さで押す。

・坂道は前向きで上り、後ろ向きで下りるのが基本。

・段差越え　段差までの距離を確認し、相手の足がぶつからないように気を付ける。

・降り方　後ろ向きで降りるか前向きで降りるか、段の高さや相手の意向で決める。何も言わずに突然降りると、後ろ向きの場合は利用者によっては、大変怖い思いをするので必ず声かけをする。

交代で車いす体験

傾聴ボランティア …

良い聴き手とは！！

平成28年度八尾市傾聴ボランティア講座が、「良い聴き手になるために」と題して、10月26日にサポートやお 2階の多目的ホールで、開かれました。

講義する山田事務局長

今日は公開講座ということで、たくさんの人が、参加されました。すでに傾聴ボランティアとして活動しておられる【えくぼ】の皆さんも、さらなるスキルアップのために参加されています。

今年の講師は、NPO法人ホールファミリーケア協会事務局長の山田豊吉さんです。おやじギャグの連発で笑いを誘い、問題を出して考える時間を与えてくださったり、時には、お叱りの言葉もあり、良い学びの時となりました。

“傾聴とはなにか？　どのような心構えであるべきなのか？”など大切なことを教えていただきました。

傾聴とは、相手の話を、否定しないで、ありのままに受けとめ、聴くことで相手の心に寄りそう、そのことは、「相手が主人公である」と思いながら、話を聴き、受けとめることだそうです。傾聴ボランティアの活動は、小さいように見えて、人にも、家庭にも、地域にも、実に大きくて大切な活動だと思いました。

「傾聴」のことを学んで豊かな人生を手に入れましょう！

福祉施設訪問 ㊷

子ども食堂“夢うらら ほっとステーション”を訪問

子ども食堂は、月2回、龍華コミュニティセンターで開かれています。

現在、6人に一人の子どもが貧困だそうです。代表の浦上氏は、「八尾に生まれ育ち、教育長を退職後、地域貢献をしたいと思い、朝食抜きや孤食の子に楽しいひと時を過ごしてもらいたいとの思いで、3～4年前から考えていました。【子どものために】と、人々が集まってくれました。知らない子どもが一緒に座り、声をかけあい、楽しい時間を持ってもらうことが大切です」と仰っています。

約40名のスタッフは、全員ボランティアで、若く、男性も多く、子どもを自宅まで、送り届けることも考えておられます。

14時頃から19時半まで、ローテーションを組んで、それぞれ役割分担をしているそうです。月1回はカレーで、他は色々です。例えば、次回は、留学生による台湾料理だそうです。

あるスタッフは「忙しい毎日の中【子どものために】との思いから、生活時間を工夫しているが、この活動が楽しい」と、活き活きとして話されました。

おいしい食事に舌鼓を打ちましたが、料金は「子ども無料 ・ 大人300円」とのことに驚きです。

隣の部屋では、宿題をしたり、ハロウィンの仮面作り ・ お絵かき等を楽しんでいます。

今日の特別イベント「二胡の演奏会」では、二胡の体験もしていました。楽しい余韻に浸りながら、家路につく親子の姿を眺めて、この取り組みが、多くのボランティアや、寄付に支えられていることを痛感し、心ホッとしながら帰路につきました。

子ども食堂はにぎやかです

お知らせ

講座

平成２８年度　**八尾市精神保健福祉ボランティア講座**

～理解して寄り添うために～

日 程	内 容・講師等
１月１３日（金）	開講式・オリエンテーション 当事者からのメッセージ
１月１９日（木）	講義『精神障がいについて』
１月２７日（金）	ボランティアさんの体験談
１月２８日（土）～２月１６日（木） 施設実習（八尾市内の同一施設で 3 日間の実習）	
２月１７日（金）	施設実習をふりかえって 修了式

障がい当事者のお話や、実際に活動を体験してみる「施設実習」など、盛りだくさんの講座です。

病気のメカニズムや寄り添う支援方法を一緒に学んで、自分のペースで活動してみませんか？

場　所: サポートやお　2 階　（下の地図参照）
時　間: 講義日は 14 時～16 時、実習は終日
定　員: 40 名(先着)　**持ち物:** 筆記用具
参加費: 無料
申込み期間: 平成 *29 年 1 月 6 日(金)まで*
申込み方法: *ボランティアセンターまで電話かＦＡＸ*

ボランティア活動展開催

～あなたもボランティアの輪の中へ～

ボランティア活動展を開催します。

ボランティア活動の魅力を知って、一緒に活動しませんか！　体験コーナーもあります。

ぜひ、お越しください。

日　時　平成 29 年 1 月 23 日（月）～27 日（金）
　　９時～17 時（最終日は 15 時 30 分まで）

場　所　八尾市役所１階　市民ロビー

表彰

次のグループが表彰されました。
おめでとうございます 。

厚生労働大臣表彰
子どもと遊びのねっとわーく・八尾

大阪府社会福祉ボランティア表彰
手話サークル フレンド

八尾市長賞
ミックスジュース

Hello

プラットホームに新しくグループが登録されました。よろしくお願いします。

➢　大正琴　カトレア会

ボランティアお試し講座

- ちょボラ体験（八尾市Ｖ教育振興会）　2／16　サポートやお
- 認知症予防（健寿会）2／20　社会福祉会館
- 音訳ってなあに？（音訳グループコスモス）2／22 社会福祉会館
- 歌体操体験（いきいき歌体操グループ）3／14 サポートやお

社会福祉法人
八尾市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒581－0018
大阪府八尾市青山町4－4－18
八尾市在宅福祉サービス
ネットワークセンター内（サポートやお）

電話:072－925－1045
FAX:072－925－1161
syakyoyao@mth.biglobe.ne.jp

メールマガジン
「やおボラNEWS携帯版」
http://m.mag2.jp/M0073749

◇社会福祉会館・サポートやおへの道順◇

〈徒　歩〉
■（社会福祉会館）近鉄八尾駅より7分、JR八尾駅より10分
■（サポートやお）近鉄八尾駅、山本駅、高安駅よりいずれも20分

編集委員
大下地恵子、尾崎光二、二葉登代子、森原 榮子、舘　邦夫、藤後聡子、池上しげ子、鹿島つな、出口真理子、星野秀代、山田真知子